



A to Z

面白くてためになるAからZまでの 院内情報誌

復刊 第5号

発行 2014年（平成26年）1月

編集者 医療法人社団尾崎病院 編集委員会



本年もよろしくお願ひ申し上げます（編集委員会一同）





新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

この休みの期間で私は“時間とムダの科学”という本を読みました。その中には「自分を変えるために最も無駄なことは、決意を新たにすることだ」と書いてありました。このことについて、私は思い当たる節がいくつかあります。年が変わったり、節目を迎えると大体の方はそうだと思いますが、今の自分のままでいたくないと思い、決意を新たに「ああしよう、こうしよう」と考えると思います。そして一年経って振り返って見ると、そんなに変わっていないことが多いと思います。では、何をしたら変わるのでしょうか。本には三つあり、①時間配分を変える、②住む場所を変える、③付き合う人を変える、ことで自分自身が変わっていくと書いてありました。でも、私は決意を新たにすることは凄く大切なことだと思っています。変わらないのは行動が伴っていないからで、一年先に自分がどうありたいか、そのためにどうなっていくか、もちろん何もできない場合には、置かれた場所で咲いてもいいし、時に流されてもいいが、それでは何も変わりません。私達は自分がどうなりたいか、筋道を立てて考え行動することが大切です。そのために、時間配分を変えて、自分のどういったところで無駄が出ているのか、どこを変えたらもう少し先の自分が見えるのか、住む場所や付き合う人を変えることは難しいですが、何かを変えるためには行動を変えないといけません。私は毎年、決意を新たにしていますが、あまり成功していない気がします。しかし今年は決意を新たにして行動を伴っていき、「どうありたいか」に自分も病院も目指していこうと思います。行動しなければ何も変わらないので、思っているだけではなく自分でどういふことをしたいか、どういふ人になりたいかを言葉で考えて目指していきましょう。

今年も一年よろしく願います。

理事長 尾崎舞

新年のご挨拶 — 手の届く具体的な目標 —

明けましておめでとうございます。

正月には今年の夢・計画を語り合っ、楽しく過ごされたことと思います。干支に因んで、飛躍の年にしましょう。

本院の各部署・部門で掲げている目標は病院の飛躍のためにも必ず実行し、更に個人として、努力すれば達成できる目標を二つか三つ決めましょう。仕事に関係したことで、趣味の範囲でも、熱中できることを選んで下さい。例えば、興味のある A という事例があれば、まず、学会で発表し、論文にします。そのためには、関連した論文を少なくとも 20～30 は読みます。A 事例に関して理解が深まり、以後、積極的に勉強するようになります。また、川柳の好きな方は毎月雑誌か新聞に投稿することしたり、ゴルフの好きな方はハンディを三つ分上達することを目標にしたりします。

昨年、2020年のオリンピックは東京に決まりました。前回の東京オリンピックは50年前の昭和39年でした。当時の競技が放映され、忘れかけていた画面が鮮やかに蘇ります。次回の東京オリンピックに出場する選手の選考には、素質が秀でていることは勿論ですが、「金メダルを目指す」というような具体的な目標を持った選手が望ましいと言われています。

努力すれば手が届く、具体的な目標を定め、日々精進し、年末には目標の達成に満足し、新しい年の夢を見ましょう。

病院長 植木壽一



舞理事長の頭の中なう Vol.5



“おもてなし”って何？！

去年の流行語大賞をとった誰でも知っている“おもてなし”ってどういうこと？ ネットで調べてみました。おもてなしの漢字は「お持て成し」。動詞のもてなすの連用形名詞「もてなし」に丁寧語の接頭辞「お」がついたものです。

広辞苑で「もてなす」を引いてみると

1. とりなす、処置する
2. 取り扱う、待遇する
3. 歓待する、ごちそうする
4. 面倒をみる、世話をする
5. 自分の身を処する、ふるまう
6. 取り上げて問題にする、もてはやす
7. そぶりをする、見せかける です。

そうだと分かるけど、じゃあ一体どうすること？ 考えてみた。

“気付く”ことじゃない？そして**“自分の時間、労力を提供すること”**ではないかと。

つまり、相手が何をしたいのか、どう感じているのかを言われる前に“気付く”、そして、自分の時間、手足、五感でその気付きを具体的に表現し、相手の気持ちに応えること。

実は“おもてなし”ってめちゃくちゃ難しいことなんじゃないか。まず、相手の気持ちに気付き、感じ取ることをしなければならない。それには精神的な、時間的な余裕と感じ取ることの

できる感性が必要だ。特に病院でもてなしとなるとハードルは高い。自分の気持ちを表現できない患者さん、本当はこうして欲しいのだけれど迷惑になってはいけないと言わない患者さん、看てもらっているんだからといって、本当の気持ちや欲求を抑えてしまう家族。私たちはそんな患者さんや家族の方の思いに気付いているだろうか？ 気付いて自分の時間や労力を提供できるだろうか？ 気付くことが難しければ、聞いてみては。患者さんには「心地よく入院生活ができていますか？」、具体的に「〇〇で困ることはありませんか？」と、家族の方には「お見舞いに来られて気になっていることはありませんか？」と。

「おはようございます」、「こんにちは」の挨拶は尾崎病院かなりのレベルです。その挨拶から一歩踏み込んで質問を投げかけ、気付かせてもらうのもとても良いと思います。そして、何らかの訴えがあれば“できる、やろう精神”で対応できる病院って素敵です。

さあ！ みんなで“お・も・て・な・し”実践です。





リハビリテーション科

～チームで行うリハビリテーション～



リハビリテーション医療は多くの専門職によるチーム医療です。

当科では、患者さん一人ひとりのためにひとつの『リハビリテーションチーム』として、チーム全体で目標を定め、定期的にカンファレンスを行います。医師、看護師、社会福祉士、介護士、栄養士、各療法士(理学・作業・言語)等の各々の専門性を活かし、意思統一とゴール設定を行い、そして退院後のフォローまで継続した援助を行っています。スタッフ一同、患者さんがもとの社会生活を取り戻されるよう、家庭復帰できるよう、また心身両面より援助できるよう日々努力しています。

ここではチーム医療の流れを一人の患者さんの事例に沿って紹介します。

【患者：Aさん】

会社で突然倒れた。原因は脳卒中。左片麻痺とともに、しゃべりにくい構音障害という状態。社会復帰を目指してリハビリチームが構成され、チームスタッフが一つになって治療に取り組む日々が始まる。

【リハビリチームスタッフ】

・医師 (Dr) / 看護師 (Ns)

医療面から患者さんやスタッフを支援

・理学療法士 (PT)

運動療法・物理療法などを駆使し身体運動機能回復を担当

・作業療法士 (OT)

ADL (日常生活活動) 訓練及び作業活動を担当

・言語聴覚士 (ST)

何らかのコミュニケーション手段を取り戻すための言語療法、また食事面を担当

・介護士

日常生活を援助

・栄養士

栄養管理面を担当

・社会福祉士

社会復帰に向けて家庭や職場の環境を整備

各専門分野から A さんの障害レベルを評価。その結果を持ち寄りカンファレンスでチームスタッフ全員が患者さんの障害を総合的に認識し治療方針を決定。



運動機能がすっかり衰えている A さんにとってベッドから起きあがることも重労働。身体を起こして車椅子へ移動するために必要な動作、日常動作を PT,OT が指導。何度も根気よく行います。



なかなかうまくいかない悔しさ、それを言葉にできないもどかしさ…その苦しみを理解しながら、言語の練習を ST が行い、目標の社会復帰達成の為にスタッフ全員でフォローします。



リハビリは順調でしたが、カンファレンスで Ns からある報告が。「A さんは最近疲れ気味の様です」。調べてみると、自主練習を頑張りすぎていたことが判明。チーム全員で A さんをフォローしていたからこそ状況の変化を素早く把握し対応することができました。



A さんの退院時期が近づいてき、家庭や職場など日常生活での問題をクリアするためにスタッフが家庭訪問し、家族の介護や住環境の改善についてのアドバイス。地域連携室との協力をもとに地域の医療・福祉サービス機関との綿密な連携を図り、在宅復帰・社会参加を支援します。



そして退院。訪問リハビリ、訪問マッサージ、通所リハビリ、外来リハビリを取り入れることにより退院後の在宅サポートを行っていき、より地域に密着した環境を整えています。



気軽に声をかけて下さい!

〈運動会〉

2025年11月17日、気高町農業者トレーニングセンターで第3回尾崎病院大運動会が開催され、肌寒い中でしたが、思い思いの仮装をして白熱した競技を繰り広げていました。

優勝介護病棟

2位 リハビリ

3位 一般・回リハ





<クリスマス会>



平成25年12月14日(土)、院内ロビーにてクリスマス会が開催されました。
 今年のクリスマス会では職員によるバンドやハンドベル演奏、岩倉レティースによる踊りなどたくさん
 の出し物が行われ、来場した患者・利用者さんを楽しませていました。

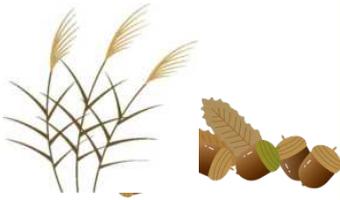


ギャラリー

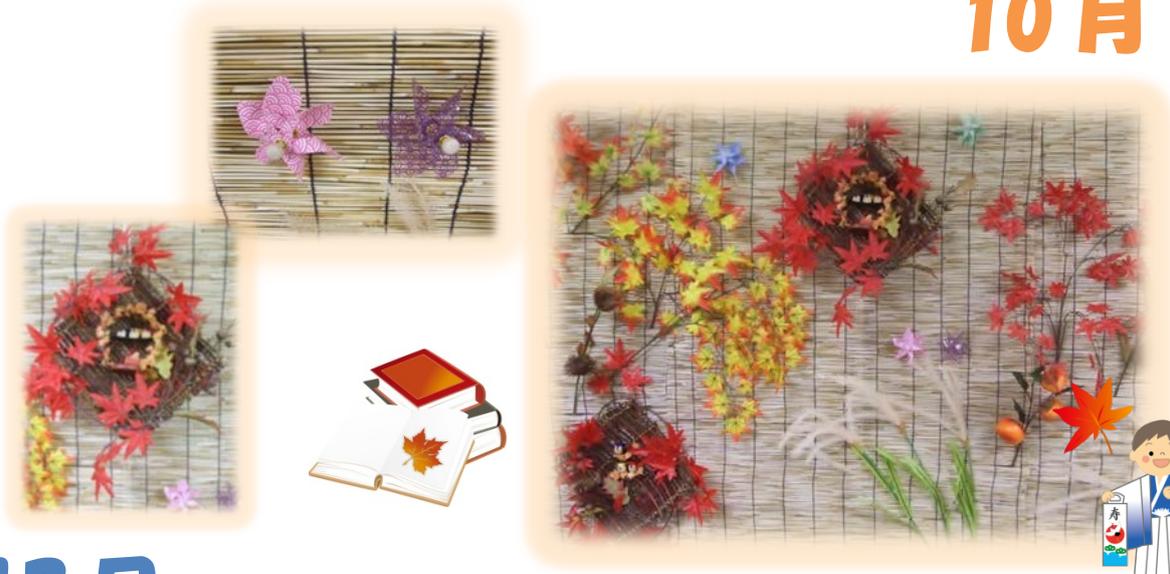
Gallery

ロビーに飾られた展示物をご紹介します。

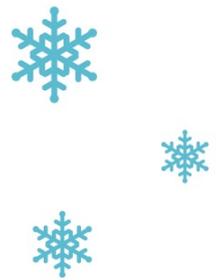
9月



10月



12月



今年もやってきました！

忘年会



オザキアワード

金賞

清潔な環境や手指の衛生を高められました。
今後ますます活躍が期待されるで賞



受賞者:リンクナース

(橋本、池田、秋聖、
藤岡、井上、寺坂)

自部署の感染防止対策
を頑張っています。
合同で院内全職種を対
象に研修を開催しまし
た!

受賞者一覽

<賞名>	<氏名>
みんなをひっぱったで賞	藤岡 郁恵
粘り勝ち一本で賞	隅 友裕
病床転換したで賞	介護病棟
踊るプリセプター賞	田村 清美
いつまでも生き生き賞	猪口 美津枝
病棟とリハとの懸け橋で賞	長田 貴徳
外来には必要で賞	大西 尚子
良く気が付いているで賞	富山 訓子
全部署に顔出してるで賞	塩 康太
ONE HEART で賞	透析センター
しゃべりつかれたで賞	地域連携室
オープン1周年を迎えました。 さらに充実して盛り上がるで賞	訪問看護 ST スタッフ
英訳にもなりました賞	褥瘡チーム(福山・井坂)
食べさせ名人賞	坂本 希
尾崎病院の母で賞	尾崎 富子



< 栄養科からの紹介コーナー >

今回は、元旦の昼食を紹介します。

昨年から、きざみ食やミキサー食の方にも、安心して美味しく食べて頂ける、目でも楽しめるお正月の食事となるよう工夫をしています。

ランチョンマットやお品書き、容器などいつもとは一味違った演出も、喜んで頂けたらと思っています。

普通食の場合



- 赤飯
- 伊達巻
- ブリ照り焼き
- 炊き合わせ（南瓜・海老・昆布巻き）
- 紅白なます
- 盛り合わせ（黒豆・栗甘露煮）
- お吸い物



(透析食)

きざみ食の場合



ミキサー食の場合

